



中居 俊人

私は10月の1ヶ月間、国立和歌山病院で地域医療研修をさせていただきました。研修先に国立和歌山病院を選んだ理由としては、呼吸器の **common disease** を診ることができる点、さらに和歌山県内の他院ではあまり診る機会のない結核の初期対応～治療までを診ることができる点でした。

実際に1ヶ月間の研修を経て、最も経験になったことは大学病院の研修では経験することのできない外来診療をさせていただいたことです。外来に来られた患者さんの主訴から、鑑別疾患を考え、その場で必要な検査をオーダーし、治療方針や入院の適応などについて考えるという、今後医師として働いていく上で非常に大切なものを学ばせていただきました。外来患者が入院適応であった場合は、主治医として治療方針を決定し、退院までの一通りの流れを自分でさせていただけることも非常によい経験になりました。

手技としては胸腔穿刺・胸腔ドレーン挿入・気管支鏡検査・CV挿入など、様々な手技を経験させていただきました。さらには呼吸器内科の研修中にもかかわらず、担当患者の外科手術にまで参加させていただき、こういった点は他科との垣根の低い和歌山病院の良い点の一つだと思いました。

丁寧にご指導いただいた諸先生方、色々と声をかけてくださった事務員の方々、コメディカルの皆さん、1ヶ月という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。